

概要**【目的】**

相談支援従事者等研修（以下「研修」という。）を、円滑かつ効果的に行えるよう、研修カリキュラム等について検討する。

【年間活動方針】

- ・区市町村および拠点機関での実習対応について、地域の実情に合わせたバックアップを行う。
- ・研修補助教材の必要性について引き続き検討を行う。
- ・私たちが目指す相談支援専門員の姿について、相談支援専門員の役割を伝えることができるよう更新する。

【委員構成】 五十音順、◎委員長、○副委員長

	氏名(敬称略)	所属
1	稲垣 藍	社会福祉法人山鳥の会 中央区立子ども発達支援センター
2	神作 彩子	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 大田区立障がい者総合サポートセンター
3	◎吉川 かおり	明星大学人文学部教授
4	芝 美樹子	社会福祉法人あだちの里 あだちの里相談支援センター
5	高江洲 幸男	社会福祉法人もくば会 八王子地域生活支援室高尾
6	蛭川 涼子	特定非営利活動法人 自立生活センターSTEP えどがわ
7	藤田 博文	特定非営利活動法人 自立生活センター日野
8	古橋 陽介	特定非営利活動法人 江戸川区相談支援連絡協議会 江相連相談支援センター
9	○美濃口 和之	文京区障害者基幹相談支援センター
10	○安井 一裕	一般社団法人しぶや糸をつむぐ会 コネクトしぶや
11	横田 勇貴	社会福祉法人ソラティオ 荒川区障害者基幹相談支援センター

【活動状況】

	日程	議事
第1回	5月31日	検討会年間活動方針及び計画案について 初任者研修におけるサポーターの協力について
第2回	8月9日	相談支援従事者指導者養成研修（国研修）受講報告について 各検討チームの活動報告および話し合い
第3回	12月20日	サービス管理責任者等指導者養成研修（国研修）受講報告について 各検討チームの活動報告および話し合い 令和7年度相談支援従事者研修（専門コース別研修）について
第4回	3月14日	年間のまとめ及び引継ぎ事項の確認

【検討体制】

- ・全体を俯瞰するための課題別のチーム、検討会と研修との連動のための研修別チームに分かれて検討を進めた。

研修種別 課題別	初任者研修	現任研修	主任研修	演習指導者 養成研修	専門コース 別研修2
内容整理	蛭川・高江洲	稲垣・古橋	美濃口	稲垣・古橋	美濃口
人材育成	芝・横田	藤田・神作	安井	芝・横田	安井

課題別チーム

検討チーム名等	委員	打合せ回数※
内容整理チーム	美濃口・稲垣・高江洲・蛭川・古橋	2回
人材育成チーム	安井・神作・芝・藤田・横田	2回

研修別チーム

検討チーム名等	委員	協力者	打合せ回数※
現任研修チーム	藤田・稲垣・神作・古橋	4名	6回
初任者研修チーム	蛭川・芝・高江洲・横田	3名	4回
主任研修チーム	美濃口・安井	1名	12回
専門コース別研修1チーム	令和5年度と同じ内容のため活動実績なし		
専門コース別研修2チーム	美濃口・安井	2名	5回
演習指導者養成研修	稲垣・芝・古橋・横田	なし	2回

※オンラインでの打合せ含む
(敬称略)

活動成果1 実習説明会の実施と実習対応についてのバックアップ方法を検討

- ・地域実習の円滑な実施に向けて、窓口となる区市町村職員と区市町村の選定した相談支援専門員（以下「実習対応者」という。）に研修の目的や実習の意図を理解していただけるよう「実習受け入れガイド」を配布すると共に、実習説明会を実施した。
- ・実習説明会で使用するスーパービジョンのデモンストレーションのシナリオについて、より現場に近い内容に変更した。
- ・これまで、参加が無かった区市町村へ呼びかけを行い、受講者がいるすべての区市町村に一度は参加していただくことができた。
- ・実習説明会に参加できなかった実習対応者が、後から視聴できるよう、また、説明会に参加した場合も繰り返し復習できるよう、録画した説明会の動画をインターネット配信した。
- ・研修の実施後、今後の実習説明会や地域実習の実施方法等について検討材料とするため、実習対応者にアンケートを実施した。
- ・地域実習の対応に役立つよう、スーパービジョンをテーマに専門コース別研修を実施した。

活動成果2 補助教材として動画での配信を実施

- ・演習指導者向けに、あとから見返せるよう、初任者研修の演習のうち重要な部分を切りとり、短時間の動画として限定配信した。演習指導者向けアンケートからは、好評を得た。
- ・演習指導者養成研修の構造を見直し、初任、現任の2コース制とした。初任コースは1日目から2日目に間が空くため、1日目の講義動画をあとから見直せるよう配信し、視聴回数も多数となった。

活動成果3 「私たちが目指す相談支援専門員の姿」について検討

- ・令和6年度より引き続き内容を検討し、「私たちが目指す相談支援専門員の姿」Ver9としてではなく、行政の職員等を対象とした資料として、検討委員以外に意見をもらいながら作成していくこととした。

活動成果4 研修と検討会を連動して進められるよう、研修別、課題別に検討体制を構築する

- ・研修と検討会を連動して進められるよう、研修別、課題別に検討体制を構築して年間の活動を進めた。
- ・昨年度に引き続き、研修別、課題別、それぞれのチームがクロスするような配置にすることで、効果的に進め

るようにした。

- ・研修別チームには元検討委員や各研修の演習指導者に協力者として参加していただいたことで、研修に携わる人材が循環できるよう工夫した。
- ・双方の活動に参加することでの負担感の増加については、検討会内でチームごとの話し合いを持つことにより軽減できるよう取り組んだ。

活動成果5	その他
--------------	------------

- ・厚生労働省主催の相談支援従事者指導者養成研修会（6月及び3月）及びサービス管理責任者等指導者養成研修専門コース別研修部分（9月）に参加し、得た情報を第2回、第3回検討会で共有した。

来年度に向けて

【引継ぎ事項1 実習説明会の検討と実習対応のバックアップについて】

- ・地域実習をより効果的に実施してもらえるよう、地域実習対応者に演習指導者養成研修の受講を働きかける。
- ・初任者研修、現任研修の目的、内容を整理しわかりやすくまとめたものを作成する。
- ・地域実習について、各研修の実習の違いを比較して確認できるものを示せるようにする。
- ・地域実習について、実習説明会等で区市町村での取り組みを、他の区市町村へ伝える機会を作る。
- ・実習対応のボトムアップにつなげられるよう、引き続きスーパービジョンをテーマにした研修を実施する。
- ・初任者研修について、受講者へ実習の心構え等を伝える時間を持つことを検討する。

【引継ぎ事項2 ファシリテーター育成の検討】

- ・演習指導者研修受講者が実際にファシリテーターを担う際に、不安が大きいとの声があることから、フォローできる仕組みを検討する。
- ・演習指導者がスキルアップできるよう、ファシリテーター説明会の内容を検討する。

【引継ぎ事項3 行政向け私たちが目指す相談支援専門員の姿の作成】

- ・引き続き資料を作成し、まずは実習説明会の場などで配布できるようにすすめる。

【引継ぎ事項4 初任者研修へのサポーターの参加について検討】

- ・初任者研修へのサポーター参加について、目的や方法、手順等を検討する。